

令和5年度 江戸川区立一之江小学校 学校関係者評価 最終評価報告書

学校教育目標	◎進んで学習する子 ○思いやりのある子 ○明るく元気な子	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	①・安全で美しい学校 ・子供を大事にする学校 ・学ぶ喜びを知る学校 ・開かれた学校 ②・主体的に学び正しく判断し行動できる子 ・相手の立場や気持ちを考えて行動できる子 ・健康で活力のある生活を送ることができる子
前年度までの学校経営上の成果と課題	<成果>「一之江学び方スタンダード」の徹底を重点目標として全校体制で取り組み、挨拶あふれる学校へ着実に成果を上げた。校内研究ではタブレットの活用を研究課題として取り組み、各教科のねらいをよりよく達成するための授業改善に向けて研鑽に努めた。 <課題>一之江タイムの習熟の時間を活用し、基本的な計算の力は伸びつつある。一方で、思考力・判断力の育成については課題が残っている。江戸川区教育委員会の教育課題推進校の指定を受けながらGIGAスクールの時代に即した指導と評価の一体化をテーマに全校体制で授業改善に努めていく。		

教育委員会重点課題	<取組項目> ・評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価		学校関係者評価		年度末に向けた改善策
				取組	成果	評価	コメント	
学力の向上	<学力の向上> ・基礎的・基本的な学力の力の向上を目指す。そのために、全学年で「一之江学び方スタンダード」に基づいた指導を徹底し学びの環境を整える。また、習熟の時間として毎日10分の一之江タイムを実施する。 ・授業では、毎時間、目標提示・振り返りの実施を心がける。 ・GIGAスクールの活用に向けた一人1台端末の効果的な活用及び授業改善（個別的な視点、協働的な視点）を図る。 ・毎日、課題提示（学年×10分+10分）を行い、家庭と連携しながら取り組み、学びの習慣化を促進する。 ・「指導と評価の一体化」をテーマに校内研究に取組む。全学年で研究授業を実施し、外部講師の指導の下、授業改善を進める。	・「一之江学び方スタンダード」を活用した授業規律 ・「基礎・基本的な定着」 ・「学習に意欲的」 ・「指導体制の工夫」 ・「家庭学習の習慣化」 ・「指導と評価の一体化」をテーマとした校内研究 ・「基礎・基本的な定着」それぞれ肯定的意見80%以上	・「基礎・基本的な定着」 ・「学習に意欲的」 ・「指導体制の工夫」 ・「家庭学習の習慣化」 ・「指導と評価の一体化」をテーマとした校内研究 ・「基礎・基本的な定着」それぞれ肯定的意見80%以上	<学力の向上> ・「一之江タイム」を活用した学習の時間 ・ICTを活用した授業 ・一人1台端末を活用した授業 ・毎日の宿題と提出物の確認 ・「指導と評価の一体化」をテーマとした校内研究 ・「基礎・基本的な定着」それぞれ肯定的意見80%以上	A	A	・「先の方がよく頑張っている。」 ・「一之江タイム」の充実 ・全国テスト等で学力向上の結果が出ている。 ・具体的なアクションが見えてきてい。 ・一之江タイム継続して子供たちの力を伸ばしてほしい。	・「一之江学び方スタンダード」の一層の徹底 ・「一之江タイム」の充実 ・ICTを効果的に活用した授業改善、一人一台タブレットの毎日の活用 ・毎日の宿題 ・校内研究（指導と評価の一体化）の全教員での推進
学力の向上	<読書の更なる充実> ・年間を通して、本に親しむ機会を確保するとともに、図書室の環境整備や、読書紹介カードを用いた本の相互紹介等を通して、読者への興味・関心を高める取組を実施する。 ・読書を通じた探究的な学習の実施、充実を図る。そのために、教科や総合的な学習の時間、学習発表会等と関連付けた問題解決学習の充実を図る。	・「積極的に取り組んでいる」 ・「環境を整えている」 ・「通んで本を読んでいる」 それぞれ肯定的意見70%以上	<読書の更なる充実> ・松江図書館、保護者がボランティアの協力図書整備を定期的実施し児童が本に触れる環境を整えた。 ・学期に1回読書週間を設け、学校全体でおすすめの本を紹介する取組を実施した。 ・保護者がボランティアの本読み隊の協力で読み聞かせを定期的実施した。 ・学習発表会では図書等を活用し調べ学習を通してとれたものを保護者に発表を行った。 ・評価指標の肯定的意見は70%～90%であった。	B	B	・本読み隊などの保護者のボランティア活動等がよくできている。 ・好きな本を選ぶ環境を整えてほしい。 ・映画鑑賞から読書につなげてほしい。 ・学校の取組は評価されているが、保護者の協力を得るのが難しい。	・朝読書の充実 ・読書週間の実施 ・読書紹介の取組 ・保護者を巻き込んだ読書の推進 ・調べ学習での活用	
体力の向上	<運動意欲や基礎体力の向上> ・体力向上の視点に立った体育科の授業改善を図る。そのために、体力テストを活用し、個々の目標設定と振り返りを行う。 ・短縄・長縄や持久走等の取組を通して体力の向上への意識を高める。	・「体力的に向上した取組」 肯定的意見80%以上	<運動意欲や基礎体力の向上> ・体力テストを前年度での自分の記録と比較して目標を定め、自己の向上を目指して取り組んだ。 ・2学期以降は、長縄と持久走の取組を実施予定。 ・評価指標の肯定的意見は80%～90%であった。	A	A	・先の方が工夫して取り組んでいると思う。 ・体力テストの目標設定は続けてほしい。 ・コロナ後の在り方を工夫してほしい。	・体育授業における運動量の確保 ・オリパラジーン校の取組の充実 ・持久走の取組 ・短縄の全校取組 ・大谷選手寄贈のグローブを活用した投げ方の習得	
共生社会の実現に向けた教育の推進	<特別支援教育の推進> ・ユニバーサルデザインの視点を取り入れた個に応じた指導の実施・充実 ・エンレックジウムへの活用促進 ・副都交、交流及び共同学習の実施、充実	・「学校が楽しい」 ・「先生に相談しやすい」 ・「健康・安全に配慮した教育」 それぞれ肯定的意見80%以上	<特別支援教育の推進> ・ユニバーサルデザインに配慮した教育環境の充実。 ・東京都教育委員会のオリビック・パラレック・カシラ推進校としての取組を継続して推進した。 ・巡回指導教員として、毎月の特別支援委員会を実施した。 ・評価指標の肯定的意見は80%以上であった。	A	A	・児童への配慮がされていると感じる。 ・今後いじめへの迅速な対応をお願いしたい。 ・パラスポーツへの取組も良いと思う。	・組織的対応の充実 ・巡回教員、保護者との連携促進。 ・SSW、児童相談所との連携促進 ・学校サポート会議の実施	
子どもたちの健全育成	<子どもたちの健全育成に向けた取組> ・「一之江学び方スタンダード」を活用した授業規律の徹底 ・不登校対策の実施、充実 ・ふれあい月間では担任と児童が直接面談する機会を設け、教育委員会の活用を促す。 ・hyaper-QUの活用 ・生活習慣改善を目指し、アンケート等を活用した家庭との連携を推進していく。 ・給食指導を中心に食に対する理解や栄養バランスについて考える食育の一層の充実を図る ・GIGAスクールの時代に向けた情報モラル教育の充実を図る ・登校指導を通して安全への意識を高める。 ・健康診断等と関連付けて健康教育の充実を図る。	・「学校の決まりを守る」 ・「学習規律の定着」 ・「通んで挨拶」 ・「学校が楽しい」 ・「いじめに対する適切な指導」 ・「先生に相談しやすい」 ・「生活習慣の向上」 ・「健康・安全に配慮した教育」 それぞれ肯定的意見80%以上	<子どもたちの健全育成に向けた取組> ・学び方スタンダードの取組を1学期当初から全校体制で実施し、学習規律の向上に結び付いてきた。 ・挨拶については子供たちの意識の上が見られ、気持ちのよい挨拶ができる子供が増えきた。 ・毎朝、担任が子供たち一人ひとりに声をかけ、様子の把握に努め一日の指導を生かした。 ・早寝・早起き・朝ごはんの取組を毎学期取組み生活習慣の向上に努めた。 ・給食では、衛生管理や世界の食事、児童考案の献立など工夫するなど、食に関する興味関心が深まった。 ・毎月のいじめ対策委員会には、スクールカウンセラーも参加し、情報共有と解決策について検討した。 ・SSWとの連携を密に行った。 ・評価指標の肯定的意見は80%以上であった。	A	A	・挨拶ができる子供が増えていると感じる。 ・挨拶指導を通して心の豊かさを工夫してほしい。 ・通んで挨拶ができるよう一層の指導を期待する。 ・学校が楽しいという子供をさらに増やしてほしい。	・「一之江学び方スタンダード」の一層の徹底 ・挨拶指導の一層の徹底 ・教室の迎え入れの継続 ・情報モラル教育の推進 ・GIGAワークブックとうきょうの活用 ・ファクトチェックを取り入れた授業の実施 ・縦割り班活動の充実 ・早寝早起き阿久ご飯週間の継続 ・SDGsを視点に入れた食育の充実	
地域に広く開かれた学校(園)の実現	<自校の取組の積極的な発信> ・学校ホームページの充実、連絡アプリを活用した迅速な情報発信及び出欠席の電子化、各種の電子化 ・PTAとの情報交換を促すとともに、見守り活動等、様々な視点から子供たちを支えるための連携を深める。 ・学校公開の実施と意見の聴取 ・PTAとの連携、見守り運動の実施	・「ホームページ、メール等の発信」 ・「意見・要望を生かしている」 ・「見守り活動の電子化」 ・「配布物の電子化の促進」 ・オンライン・アンケートの実施と速やかな改善策の提示があった。	<自校の取組の積極的な発信> ・「ホームページ、メール等の発信」 ・「意見・要望を生かしている」 ・「見守り活動の電子化」 ・「配布物の電子化の促進」 それぞれ肯定的意見80%以上	<自校の取組の積極的な発信> ・学校ホームページの充実、連絡アプリを活用した迅速な情報発信及び出欠席の電子化、各種の電子化 ・PTAとの情報交換を促すとともに、見守り活動等、様々な視点から子供たちを支えるための連携を深める。 ・学校公開には児童数約1.5倍の保護者の参観があった。 ・評価指標の肯定的意見は80%～90%であった。	A	A	・地域やPTAと連携して取組が進められていてよい。 ・本校は伝統的に地域と連携できている。いつでも見れてよい。	・出欠席アプリの一層の活用 ・ホームページの随時更新、一斉メールによる迅速な情報発信 ・オンライン・アンケートの効果的活用 ・学校評価の年一回実施 ・PTAとの連携 ・PTA行事の実施
特色ある教育の展開	<人と人との関わりを重視した教育> ・異学年による登校班や縦割り班活動を実施するとともに、6年生と1年生の関わり等を大切にした教育を実施する。 ・また、児童会による児童主体の取組や、アサーション等の手法を取り入れ、人とよりよく関わるためのすべを身に付ける教育についても実施している。	・「学校が楽しい」 肯定的意見80%以上	<人と人との関わりを重視した教育> ・登校班、縦割り班を通して、異学年の交流と関係の深まりにつながることができた。 ・6年生と1年生の関わりは朝のお世話、掃除の手伝い、運動会の感想の交換など工夫して実施した。 ・評価指標の肯定的意見は90%であった。	A	A	・引き継ぎ思いやりのある子の育成に努めてほしい。 ・きめ細かく対応できていると感じる。 ・上級生と下級生の仲が良い。	・防災教育の取組の充実 ・オリパラジーン校の取組の充実 ・登校班活動の充実 ・縦割り班活動の充実 ・次年度のスクールバスの対応	